

# 消費動向調査

## 「(山形・秋田)県内家計の消費動向調査」(概要)

- 1 調査の目的 山形・秋田の県民の暮らし向きについての現状と見通しを時系列的にとらえるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の方法 専属モニターを対象とした郵送によるアンケート調査
- 3 調査の対象者 山形・秋田の県内に在住するサラリーマン(勤労者)世帯(世帯人数2名以上)
- 4 調査期間 平成28年6月1日(水)～14日(火)

山形/モニター世帯数: 512世帯  
有効回答数: 475世帯(回答率: 92.8%)  
秋田/モニター世帯数: 373世帯  
有効回答数: 336世帯(回答率: 90.1%)

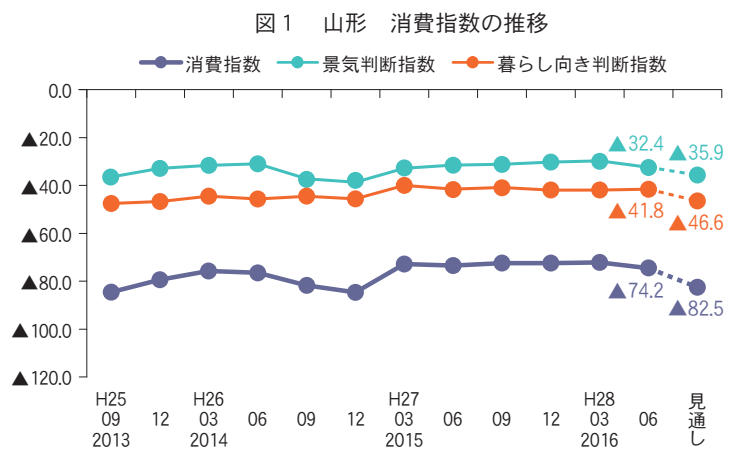
### 消費指数

#### 第40回 山形県内家計の消費動向調査

##### ～消費マインドは足踏み状態、依然として先行きに不安感～

消費指数は、▲74.2(前期比2.2ポイント下落)と、4期ぶりに若干悪化となった。内訳は景気判断指数が▲32.4(前期比2.5ポイント下落)と6期ぶりに若干悪化となった一方で、暮らし向き判断指数が▲41.8(前期比0.3ポイント上昇)とおおむね横ばいとなった。総じて、消費指数は足踏み状態が続いている。

今後の見通しは、▲82.5と大幅に悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲35.9、暮らし向き判断指数が▲46.6といずれも悪化の見通しとなっている。

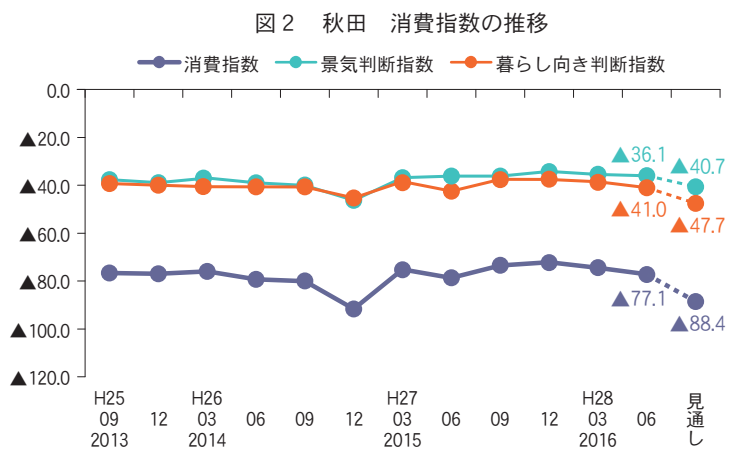


#### 第20回 秋田県内家計の消費動向調査

##### ～消費マインドは2期連続で悪化、先行きはさらに悪化の見通し～

消費指数は、▲77.1(前期比2.6ポイント下落)と2期連続で悪化した。内訳は、景気判断指数が▲36.1(前期比0.3ポイント下落)と小幅ながら2期連続で悪化、暮らし向き判断指数は▲41.0(前期比2.3ポイント下落)と3期連続の悪化となった。

今後の見通しは、▲88.4(今回調査比11.3ポイント下落)と大幅悪化の見通しとなっている。内訳は、景気判断指数が▲40.7、暮らし向き判断指数が▲47.7とともに悪化の見込みとなっている。



#### 【指数の見方】

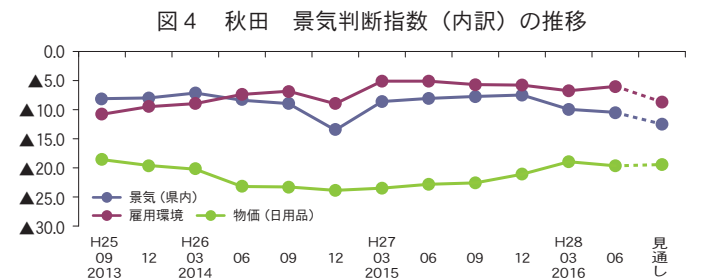
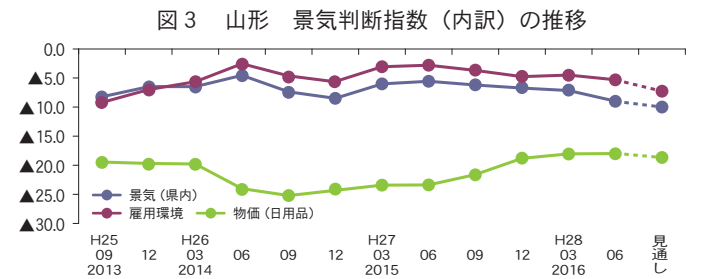
消費指数は景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と暮らし向き判断指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

### 景気と暮らし向き

#### 景気判断

山形の景気判断指数は▲32.4(前期比2.5ポイント下落)と、6期ぶりに若干悪化となった。景気判断指数を形成する個別指数については、「景気(県内)」が4期連続で悪化し、「雇用環境」も前回調査時に改善したものの、再び悪化に転じた。一方で「物価(日用品)」はほぼ横ばいとなった。

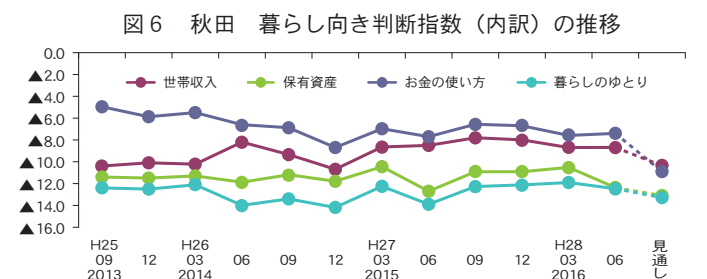
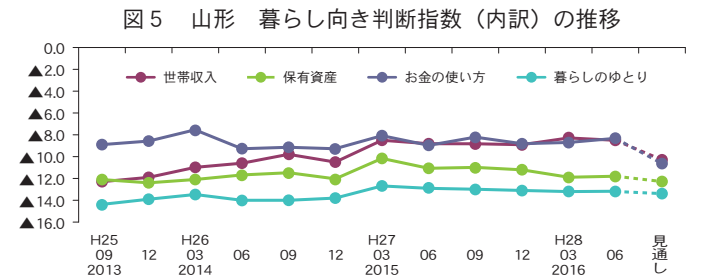
秋田の景気判断指数は▲36.1(前期比0.3ポイント下落)と小幅ながら2期連続で悪化した。指数を形成する個別指数では、「雇用環境」が5期ぶりに若干改善した一方、「景気(県内)」は2期連続で悪化し、改善が続いていた「物価(日用品)」は6期ぶりに若干悪化となった。



#### 暮らし向き判断

山形の暮らし向き判断指数は▲42.1(前期比0.1ポイント下落)とほぼ横ばいとなった。暮らし向き判断指数を形成する4つの個別指数(「世帯収入」「保有資産」「お金の使い方」「暮らしのゆとり」)については、すべての指数でおおむね横ばいとなった。

秋田の暮らし向き判断指数は▲41.0(前期比2.3ポイント下落)と3期連続で悪化した。指数を形成する個別指数は、「世帯収入」と「お金の使い方」が横ばい圏内の動きとなった一方、「保有資産」と「暮らしのゆとり」は悪化となった。



#### 家計収支

山形の収入面では可処分所得(収入の手取り額)が425千円と前年同期比で18千円の減少となり、支出面では支出合計が400千円と前年同期比で6千円の減少となった。

この結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は94.2%となり、前年同期に比べて2.3ポイントの上昇となった。

秋田の収入面では可処分所得(収入の手取り額)が385千円と前年同期比で2千円の減少となり、支出面では支出合計が388千円と前年同期比で25千円の増加となった。

この結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は100.7%となり、平成23年9月の調査開始以降初めて100.0%を上回った。

